

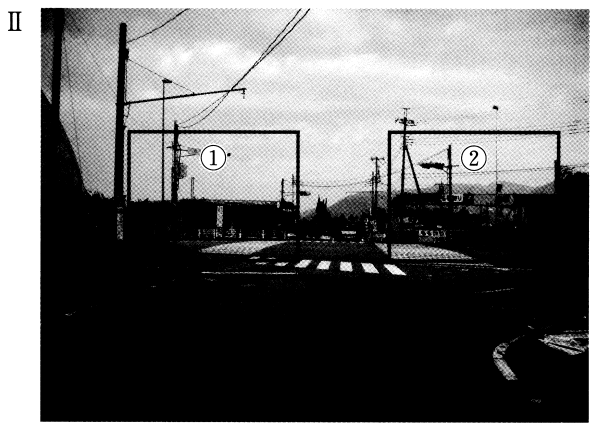
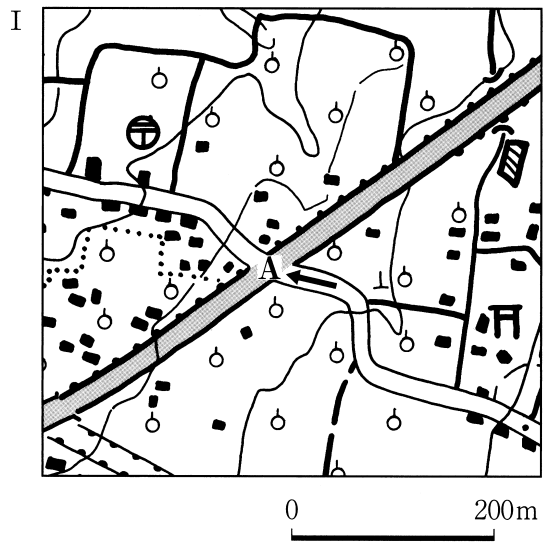
# 社 会

## 注 意

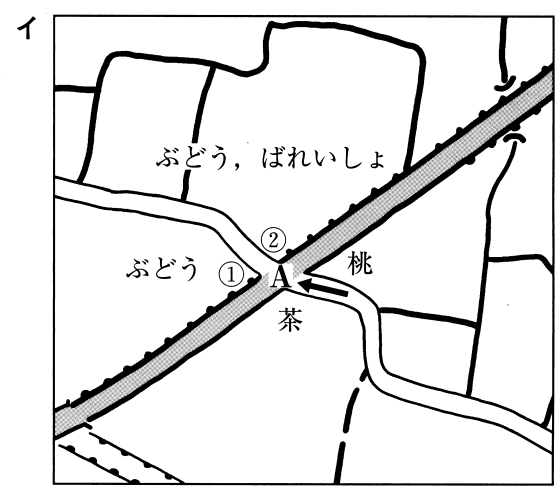
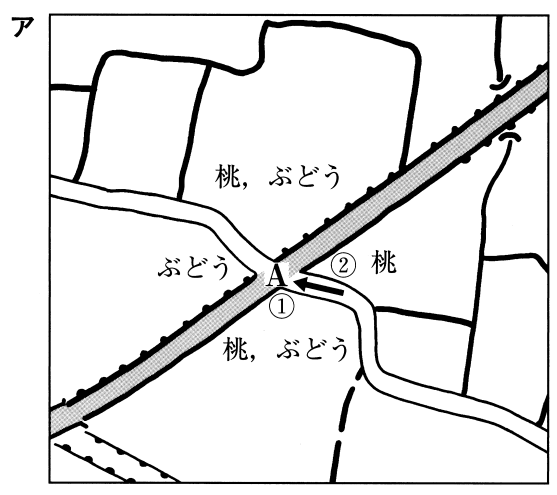
- 1 問題は **1** から **6** までで、12 ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は 50 分で、終わりは午後 2 時 00 分です。
- 3 声を出して読んではいけません。
- 4 答えはすべて解答用紙に明確に記入し、**解答用紙だけを提出**しなさい。
- 5 答えは**特別の指示**のあるもののほかは、各問の**ア・イ・ウ・エ**のうちから、最も適切なものをそれぞれ一つずつ選んで、その記号を書きなさい。
- 6 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 7 **受検番号**を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。

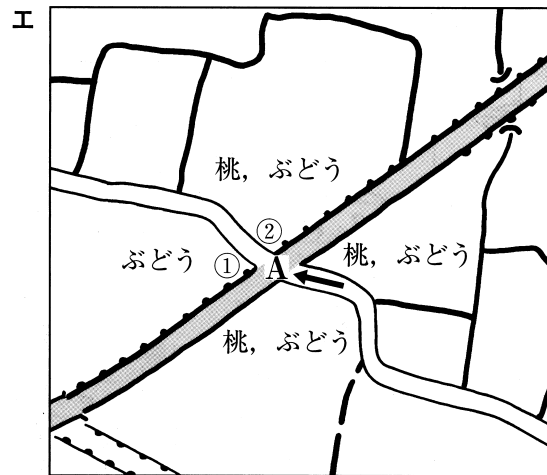
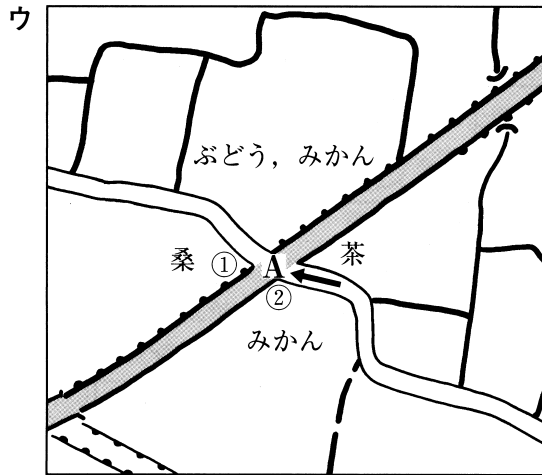
1 次の各問に答えよ。

〔問1〕 次のIの地形図は、2006年の「国土地理院発行2万5千分の1地形図（石和）<sup>いさわ</sup>」の一部を拡大して作成したものである。IIの写真は、Iの地形図中のAの交差点を ← の方向から撮影したものである。IIIの文章は、IIの写真に写っている①、②の店舗とAの交差点周辺の様子についてまとめたものである。I～IIIの資料から、①、②の店舗の位置と、Aの交差点周辺で生産している作物について記録した略地図として適切なのは、下のア～エのうちではどれか。



III ○①、②の店舗では、夏から秋にかけて収穫される、2008年における山梨県<sup>やまなし</sup>の生産量が全国第1位の特産品を店頭販売したり、その周辺の農園で観光客に直接収穫させたりしている。  
○Aの交差点周辺では、①、②の店舗で販売されている特産品と同じ作物を生産している様子を見ることができる。





〔問 2〕 次の文章で述べている選挙の仕組みを何というか、漢字で書け。

我が国の国会議員を選出するための仕組みの一つとして、衆議院議員選挙にも参議院議員選挙にも共に導入されている。有権者は、衆議院議員選挙では政党の名前を書いて投票し、参議院議員選挙では政党もしくは候補者の名前を書いて投票する。各政党の議席数は、得票数をドント式に当てはめて配分される。

〔問 3〕 次の略年表は、我が国の歴史の流れを変えたある人物の生涯の主な出来事とアジアの動きについてまとめたものである。この人物に当てはまるのは、下のア～エのうちではどれか。

世紀	時代	西暦	生涯の主な出来事	アジアの動き
7 世紀	飛 鳥 時 代	626	● <small>たむらのみこ</small> 田村皇子（後の <small>じよめい</small> 舒明天皇）と <small>たからのひめみこ</small> 宝皇女（後の <small>こうぎよく</small> 皇極・ <small>さいめい</small> 齐明天皇）との間に生まれた。	618 <small>とう</small> 唐の建国
		645	●天皇による政治の復活を目指し、 <small>なかとみのかまたり</small> 中臣鎌足らと共に <small>そが</small> 蘇我氏を倒した。	
		663	●日本と友好関係にある <small>くだら</small> 百済が、 <small>しらぎ</small> 新羅と唐の連合軍に攻められたため、軍を派遣したが、 <small>はくすきのえ</small> 白村江で大敗した。	663 百済の滅亡
		667	● <small>おうみ おおつのみや</small> 近江の大津宮に遷都した。	
		668	●即位して <small>てんじ</small> 天智天皇となった。	668 <small>こうくり</small> 高句麗の滅亡
		670	●支配下の人民を把握するために戸籍を作るよう命じた。	
		671	●大津宮で没した。	

ア なかのおおえのおうじ中大兄皇子

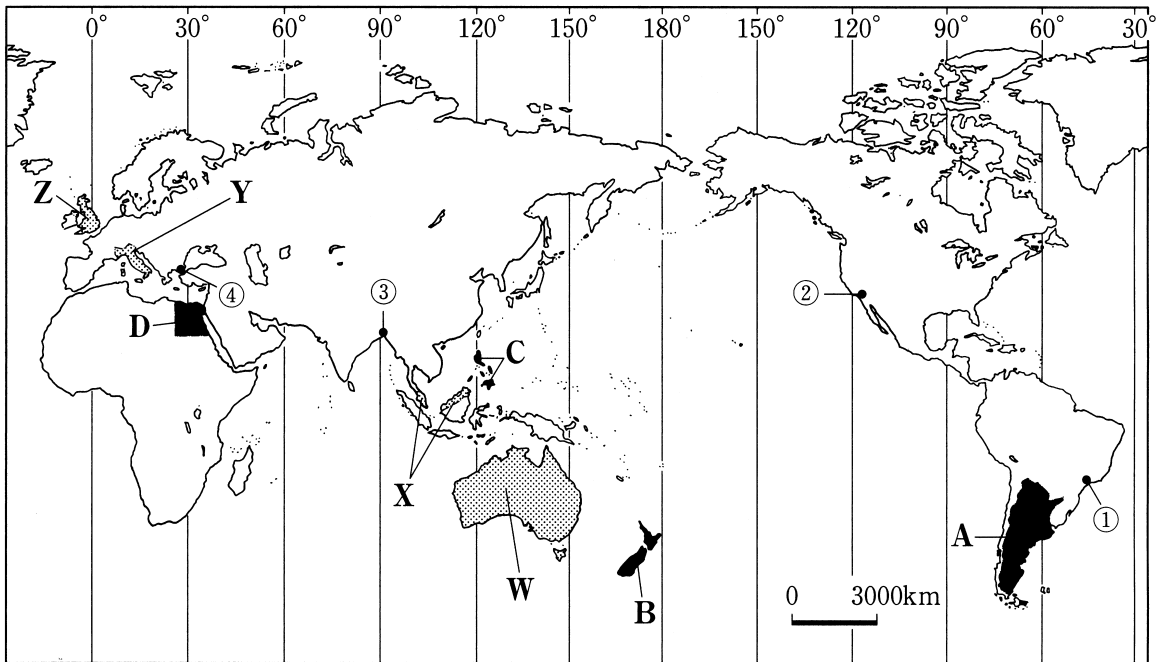
イ おののいもこ小野妹子

ウ さかのうえのたむらまろ坂上田村麻呂

エ しょうとくたいし聖徳太子

2

次の略地図を見て、あとの各問に答えよ。



〔問1〕 略地図中の①～④は、日本の商社が支社を置いている海外の都市のうち、サンパウロ、ロサンゼルス、ダッカ、イスタンブールの位置をそれぞれ示したものである。次の文章は、日本にある本社から、①～④のいずれかの都市に置かれている支社に電子メールを送信した事例について述べたものである。この文章で述べている支社が置かれている都市に当てはまるのは、略地図中の①～④のうちではどれか。


本社の会議で決定した業務指示を、海外の支社に電子メールで送信した。送信と受信で時間差はなく、日本時間で3月1日午後5時に本社から送信した電子メールを、この支社では現地時間の3月1日午前10時に受信した。

(注) 時差については、サマータイム制度を考慮しない。

〔問2〕 次の表の**ア**～**エ**は、日本の農林業にかかわる企業が進出している国のうち、略地図中に            で示した、**A**～**D**のいずれかの国の自然環境の特色や日本企業の活動例をまとめたものである。略地図中の**A**に当てはまるのは、**ア**～**エ**のうちではどれか。

自然環境の特色や日本企業の活動例	
<b>ア</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○温泉が豊富で地熱発電も行われており、偏西風の影響を受け、年間を通じて降雨が安定し、首都の平均気温は2月でも18度を超えず、7月でも8度を下回らない。</li> <li>○半永久的に木材資源を利用するため、針葉樹の中でも比較的成長の早いマツ科の樹種を選んで植林を進め、生産した住宅用の板材を日本をはじめ世界各地に輸出している。</li> </ul>
<b>イ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北流する河川が国土を南北に貫き、経線、緯線がそのまま国境線となっており、首都の年平均気温は21度を超え、年降水量は30mmを下回るが、オアシスと呼ばれる場所には緑が見られる。</li> <li>○降水量が少なく病虫害の被害を受けにくい地域で灌漑を行い、日本に加工食品として輸出するための生姜<small>しょうが</small>の生産に取り組んでいる。</li> </ul>

ウ	○海溝の西側に位置し年中高温で、雨季と弱い乾季がある首都をはじめとする地域と、年間を通じて降水量は多いが、台風の影響を受けにくい地域がある。 ○台風の影響を受けにくい地域において、管理の行き届いた農園で、環境に配慮しながら、日本の消費者の求めに合うバナナなどを栽培し、輸出している。
エ	○国土の西側に位置し現在も変動を続けている山脈から首都へと続く地域の気候は、乾燥帯や温帯に属する。 ○年降水量が500mmを超える穀倉地帯で、日系移民が経営する農場とも協力し、大豆などの生産を行い、穀物の日本への安定供給に努めている。

〔問3〕 次のⅠとⅡの表の**ア～エ**は、日本の企業が進出している国のうち、略地図中に  で示した**W～Z**のいずれかの国に当てはまる。Ⅰの表は、1986年と2006年における進出日本企業数と製造業にかかわる進出日本企業数、輸出額が多い上位3位までの貿易相手国、Ⅱの表は1986年と2006年における輸出額、主要輸出品の輸出額に占める割合を示したものである。Ⅲの文章は、ⅠとⅡの表における**ア～エ**のいずれかの国について述べたものである。Ⅲの文章で述べている国に当てはまるのは、略地図中の**W～Z**のうちのどれか。

Ⅰ

		進出日本企業数		輸出額が多い上位3位までの貿易相手国		
			製造業	1位	2位	3位
<b>ア</b>	1986年	327	57	日 本	アメリカ合衆国	中華人民共和国
	2006年	403	69	日 本	中華人民共和国	大 韓 民 国
<b>イ</b>	1986年	68	13	旧 西 ド イ ツ	フ ラ ン ス	アメリカ合衆国
	2006年	199	51	ド イ ツ	フ ラ ン ス	アメリカ合衆国
<b>ウ</b>	1986年	325	179	日 本	シンガポール	アメリカ合衆国
	2006年	779	438	アメリカ合衆国	シンガポール	日 本
<b>エ</b>	1986年	334	54	アメリカ合衆国	旧 西 ド イ ツ	フ ラ ン ス
	2006年	784	180	アメリカ合衆国	フ ラ ン ス	ド イ ツ

(国際連合「貿易統計年鑑」2006などより作成)

Ⅱ

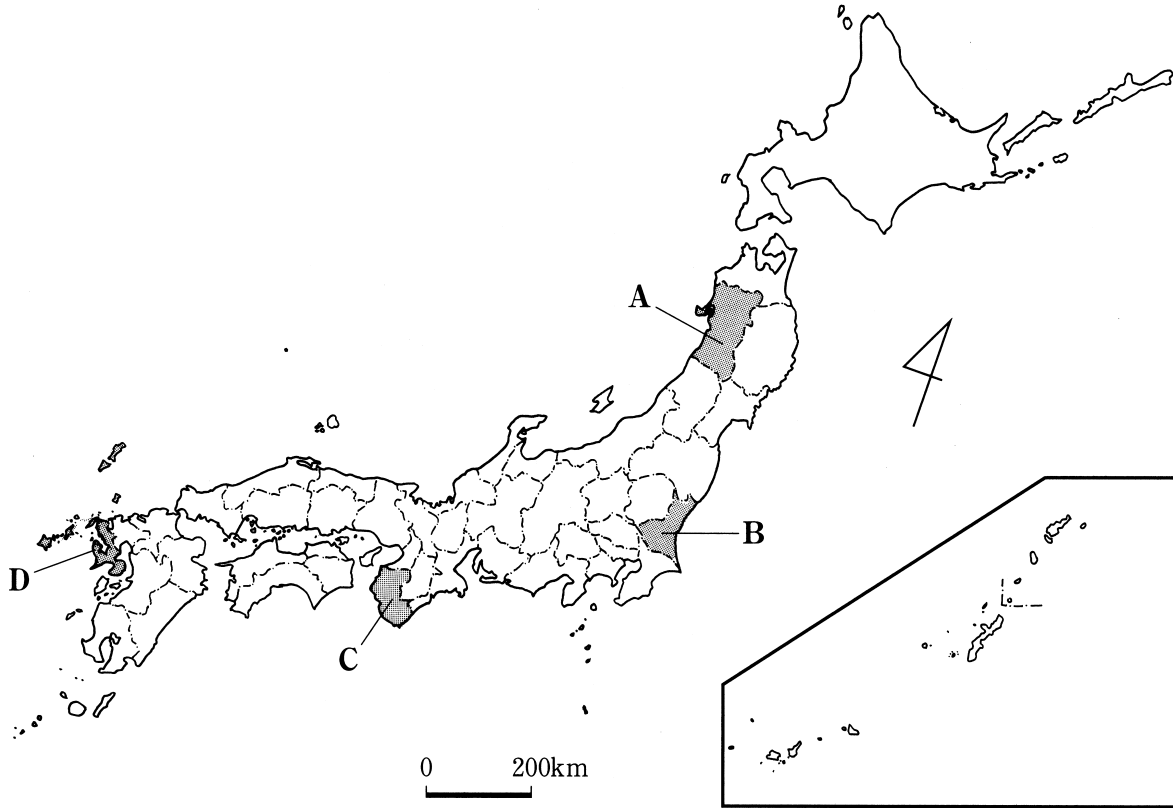
		輸出額 (億ドル)	主要輸出品の輸出額に占める割合 (%)			
			1位	2位	3位	
<b>ア</b>	1986年	210.48	石炭 16.6	羊毛 9.1	小麦 8.8	
	2006年	1233.16	石炭 14.2	鉄鉱石 8.8	金(非貨幣用) 5.6	
<b>イ</b>	1986年	978.15	一般機械 19.3	衣類 7.7	自動車 6.9	
	2006年	4161.45	一般機械 19.9	自動車 7.8	電気機械 7.4	
<b>ウ</b>	1986年	138.30	電気機械 21.7	原油 15.2	木材 11.8	
	2006年	1605.74	電気機械 47.7	原油 5.5	液化天然ガス 4.0	
<b>エ</b>	1986年	1066.54	一般機械 18.6	原油 8.6	電気機械 6.6	
	2006年	4283.57	電気機械 21.9	一般機械 12.0	自動車 8.0	

(国際連合「貿易統計年鑑」2006などより作成)

Ⅲ 1980年代以降、工業化政策を推進して高い経済成長を達成した結果、輸出額に占める鉱産資源の割合は低下したが、輸出額は大幅に増加し、特に2006年には電気機械が輸出額で700億ドル以上となるなど輸出品目の中心となった。  
2006年には、我が国から進出している企業数が1986年に比べて増加している。そのうち製造業の進出企業数も、3倍には達しないものの大幅に増加しており、DVDレコーダーやビデオカメラ、液晶テレビなどの電気製品の組み立てなどを行って、日本をはじめ世界各地に製品を輸出している。


3 次の各問に答えよ。

〔問1〕 下の表の**ア**～**エ**は、略地図中の**A**～**D**のいずれかの県の、1960年と2008年における人口密度、県内の自然環境と近年の人口分布の様子をまとめたものである。**A**～**D**の県のそれぞれに当てはまるのは、下の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。



人口密度 (人/ km <sup>2</sup> )		県内の自然環境と近年の人口分布の様子
<b>ア</b>	1960年 213	○中央部や県境に山地などが位置し、河川の多くは山間部を蛇行している。全国的に見ても年降水量の少ない北部に対し、南部には3000mmを超える地域もある。
	2008年 214	○大都市への通勤者を中心に、北部では人口が増加している地域もあるが、農林業や漁業中心の中央部や南部では過疎地域が見られる。
<b>イ</b>	1960年 336	○中央部から南部にかけて広がる平野には湖があり、県内を流れる河川が流域面積全国第1位の河川に合流して県境を東流している。
	2008年 486	○交通網の整備が進み、大都市との結び付きを強める南部では人口が増加している地域もあるが、農林業が中心の北西部では過疎地域が見られる。
<b>ウ</b>	1960年 431	○南部には自然災害をもたらした火山が見られるなど平地に乏しく、海岸線は多くの半島、岬と湾、入江から形成されている。
	2008年 351	○炭鉱閉鎖などに伴う急激な人口減少は鈍化傾向にあるが近年も続き、造船業などが立地している地域を除き、山間部などに過疎地域が見られる。
<b>エ</b>	1960年 115	○東部では南北に山脈が走り、世界遺産に指定されている北西部の山地には、世界最大級のブナの自然林が残されている。
	2008年 95	○米価の伸び悩みや鉱山関係の産業の低迷が続く中で、県庁所在地などの一部の地域を除き、山間部などを中心に過疎地域が見られる。

(「データでみる県勢第19版」などより作成)

〔問2〕 次のⅠとⅡの地形図は、1968年と1978年の「国土地理院発行2万5千分の1地形図（荏田）」の一部を拡大して作成したものである。Ⅰの地形図中に  の太線で示した等高線の標高に当てはまるのは、下のA群のア～エのうちのどれか。また、ⅠとⅡの地形図を比較して、Ⅰの地形図中に①～④で示した範囲の変容について読み取れることを述べているのは、下のB群のア～エのうちではどれか。



**A群**

- ア 30m                      イ 40m                      ウ 50m                      エ 60m

**B群**

- ア ①のたまプラーザ駅の南側は、水田が埋め立てられ、市役所が建設された。  
 イ ②の交差点周辺は、道路が拡張され、造成された土地には郵便局などが建設された。  
 ウ ③のトンネル付近には、新たに鉄道駅が設けられ、警察署が建設された。  
 エ ④の広葉樹林のあった地域には、工場が集まる工業団地が建設された。

〔問3〕 次の表は、千代田区、港区それぞれの2008年の面積と、1985年と2008年における2区の商業地区の面積、商業地区に多く立地する事務所総床面積を示したものである。1985年と2008年を比較し、商業地区の面積と事務所総床面積に着目して、それぞれの面積はどのように増加したか、また、その結果、商業地区の景観がどのように変化したか、2区に共通して言えることをそれぞれ簡単に述べよ。

	区の面積 (km <sup>2</sup> )	1985年		2008年	
		商業地区 の面積 (km <sup>2</sup> )	事務所 総床面積 (km <sup>2</sup> )	商業地区 の面積 (km <sup>2</sup> )	事務所 総床面積 (km <sup>2</sup> )
千代田区	11.64	2.90	9.54	3.10	15.62
港区	20.34	2.45	6.07	2.89	17.36

(注) 事務所総床面積には銀行は含まれるが、飲食店などの店舗や工場、倉庫は含まれない。

(「東京の土地 2008」などより作成)

4

次の文章を読み、あとの各問に答えよ。

私たちは、道具を作り出し、道具を使うことにより生活を豊かにしてきた。道具には、工具のように物を作るために使われるものや、食器や調理器具、家具などのように日常生活で使われるものなど、さまざまなものがあり、時代が進むにつれ、道具の種類も増えてきた。特に、農具は人々に利用され改良が加えられることで、食物の生産に大きな役割を果たしてきた。<sup>(1)</sup> また、道具の中には、本来の用途を離れ、地域の特色を生かした特産品となったり、工芸品として芸術的に高い価値をもち、外国と取引されたりするものも現れた。<sup>(2)</sup>

明治時代以降になると欧米から多くの道具が輸入され、欧米の知識や技術を取り入れて作られた新しい道具が人々の生活を変化させていった。<sup>(3)</sup> さらに時代が進むと、我が国独自の技術を生かしてさまざまな道具が生産されるようになり、世界各地で人々の生活を豊かにしていった。<sup>(4)</sup>

〔問1〕 農具は人々に利用され改良が加えられることで、食物の生産に大きな役割を果たしてきた。

<sup>(1)</sup>とあるが、鎌倉時代の農具の利用について述べているのは、次のア～エのうちではどれか。

- ア 月に3回開かれる定期市で鍛冶職人が作った農具も売られるようになる中で、荘園領主や地頭の支配下にある農村などでは、農民が鋤や鋤、鎌などの鉄製農具を利用して農作業を効率的に進めた。
- イ 大陸や朝鮮半島から稲作が伝えられて九州から東日本へと広まる中で、農民は木製の鋤や鋤を耕作に利用したり、石包丁を収穫に利用したりして生産量を増やした。
- ウ 墾田永年私財法が定められ土地の開発が奨励される中で、貴族や寺社は朝廷の下で働く技術者集団などが作った鉄製農具を支配下の農民に利用させ、開墾を行って私有地を広げた。
- エ 農業技術書などによって近畿地方などの進んだ農業技術が各地に広まる中で、農民は土地を深く耕すことのできる備中鋤や、脱穀に便利な千齒こきなどを利用して農作業を効率的に進めた。

〔問2〕 工芸品として芸術的に高い価値をもち、外国と取引されたりするものも現れた。とあるが、

<sup>(2)</sup>次のⅠの略年表は平安時代から江戸時代にかけての我が国の貿易に関する主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの文章は、ある時期に我が国が行った貿易の様子について述べたものである。Ⅱの文章で述べている貿易が行われていた時期に当てはまるのは、Ⅰの略年表中のア～エの時期のうちではどれか。

Ⅰ

西暦	貿易に関する主な出来事
1173	● <u>大輪田泊</u> （現在の神戸市）が修復され、 <u>宋との貿易が本格化した。</u> …………… ア
1404	●幕府が明と協定を結び、貿易が始まった。…………… イ
1550	●平戸にポルトガル商人が来航し、貿易が始まった。…………… ウ
1604	●幕府から朱印状を得た西国大名や商人によって、 <u>東南アジアの国々との貿易が始まった。</u> …………… エ
1641	●平戸のオランダ商館が長崎の出島に移され、 <u>相手国を制限した貿易が始まった。</u> ……………

Ⅱ

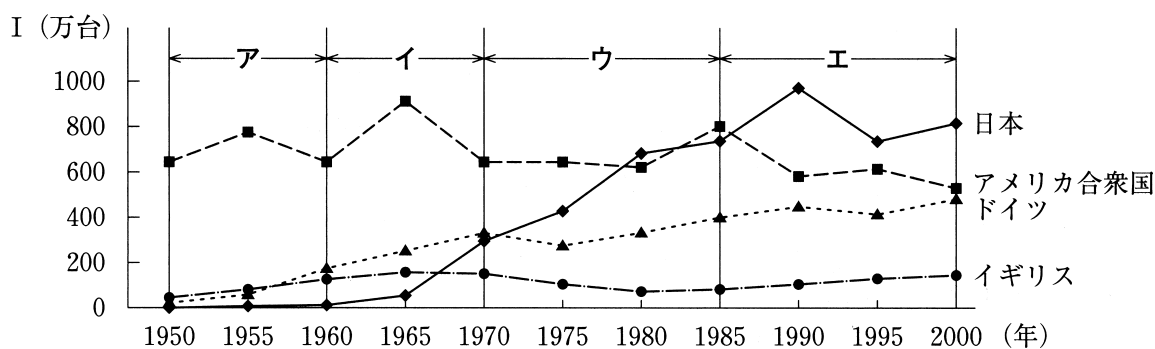
- 我が国の貿易船は、正式な貿易相手であることを証明する「勘合」を持参し、貿易相手国の役所で確認を受けた。
- 我が国からは刀剣や扇、金銀などで装飾を加えた時絵の漆器などを輸出し、相手国からは銅銭や陶磁器などを輸入した。



〔問3〕 明治時代以降になると欧米から多くの道具が輸入され、欧米の知識や技術を取り入れて作られた新しい道具が人々の生活を変化させていった。とあるが、次のア～エは明治時代から昭和時代にかけて新しい道具が現れた時代背景と新しい道具の利用について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

新しい道具が現れた時代背景と新しい道具の利用	
ア	○国際連合に加盟して国際社会への復帰を果たすとともに、貿易などで経済力が高まり、好景気が実現した。 ○芝浦の製作所で電気炊飯器の製造が始まり、食事の準備に利用され始めた。
イ	○郵便制度が発足し、学制が定められるとともに、太陽暦の採用で24時間制が実現するなど、近代国家の基礎となるさまざまな仕組みが整備された。 ○日本橋に設置された、交通通信を管轄する官庁をはじめ全国の郵便役所などに掛け時計が掲げられ、正確な時刻に従って行う業務などに利用され始めた。
ウ	○自由民権運動が盛んになり、新聞などを通じて権利の拡大が主張されるとともに、政治の仕組みなどを研究する中からさまざまな民間の憲法草案が作られた。 ○四谷の鉛筆工場で国産鉛筆の製造が始まり、役所での文書作成などに利用され始めた。
エ	○初の本格的な政党内閣が組織されるなど普通選挙への要求が高まる中で、労働運動や社会運動など生活の向上を求める動きが盛んになった。 ○滝野川の製作所で国産小型ミシンの製造が始まり、家庭での裁縫などに利用され始めた。

〔問4〕 我が国独自の技術を生かしてさまざまな道具が生産されるようになり、世界各地で人々の生活を豊かにしていった。とあるが、次のIのグラフは、1950年から2000年までの、日本、アメリカ合衆国、ドイツ、イギリスの乗用車の生産台数の推移を示したものである。IIの文章は、Iのグラフのア～エのいずれかの時期における国際情勢と我が国の自動車生産について述べたものである。IIの文章で述べている時期に当てはまるのは、Iのグラフのア～エの時期のうちではどれか。



(注) ドイツは、1991年までは旧西ドイツの数値を用いている。

(日本自動車工業会の資料より作成)

II

第四次中東戦争の影響でエネルギー資源の需給バランスが大きく変動し、多くの資本主義先進国が不況に見舞われたが、資源小国の我が国は省エネルギー対策を進め、いち早く不況から脱した。自動車産業においても、低燃費・低公害の乗用車の生産台数が大幅に増加し、輸出も伸びたものの、日米貿易摩擦を引き起こしたため、輸出自主規制を行うこととなった。

5

次の文章を読み、あとの各問に答えよ。

資本主義経済においては、企業は経済活動を自由に行うことが保障されており、中でも私企業は財（もの）やサービスを私たち消費者に提供して利潤を上げている。また、銀行に代表される金融機関は企業の経済活動をより活発にする役割を果たしている。こうした経済活動によって、私たちの消費生活は選択の幅を広げている。

一方で、私企業の行き過ぎた利潤の追求などは、経済活動の自由を妨げ、消費者の利益を損なうことがあるため、国や地方公共団体による規制が行われてきた。さらに、消費者の利益などを尊重するために、私企業には、自社の利潤を追求するだけでなく、積極的に社会貢献活動を行い、社会的責任を果たすことが求められている。

〔問1〕 企業は経済活動を自由に行うことが保障されており、とあるが、経済活動の自由を保障する日本国憲法の条文は、次のア～エのうちではどれか。

- ア 何人も、法律の定める手続によらなければ、その生命若しくは自由を奪はれ、又はその他の刑罰を科せられない。
- イ すべて国民は、勤労の権利を有し、義務を負ふ。
- ウ すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
- エ 何人も、公共の福祉に反しない限り、居住、移転及び職業選択の自由を有する。

〔問2〕 銀行に代表される金融機関は企業の経済活動をより活発にする役割を果たしている。とあるが、次の表は、日本銀行と一般の銀行とが、紙幣の発行、国債の買い入れ、私企業への貸付を行うことができるかどうかを、できる場合は「○」、できない場合は「×」で示そうとしたものである。表のAとBに入る記号を正しく組み合わせているのは、下のア～エのうちのどれか。

	日本銀行	一般の銀行
千円札、二千円札、五千円札、一万円札などの紙幣を発行したり回収したりする。	○	×
不況のときは、金融政策として国債を買い入れ、民間に出回る資金量を豊富にする。	A	×
個人から預かっているお金の一部を、私企業へ設備投資などの事業資金として貸し付ける。	×	B

	ア	イ	ウ	エ
A	○	○	×	×
B	○	×	○	×

〔問3〕 国や地方公共団体による規制が行われてきた。とあるが、次のⅠのグラフは、1997年度に<sup>(3)</sup>おける、ある住宅用資材の製造販売分野での販売総額に占める各社の販売額の割合を示したものである。Ⅱの文章は、1999年における、Ⅰのグラフで示した住宅用資材の製造販売業者の、ある地域での活動について述べたものである。Ⅱの文章で述べているような製造販売業者の活動が行われた背景には、どのような市場の状況があったのか、Ⅰのグラフを参考にして、簡単に述べよ。また、こうした企業の活動を禁じている法律名を何というか、漢字で書け。

Ⅰ

A社	B社	C社	D社	E社	その他	(%)
34.9	31.2	11.0	10.9	7.1	4.9	

(「市場占有率'99」より作成)

Ⅱ

地方公共団体などが発注する住宅用資材を受注・販売している数社が同業組合をつくり、あらかじめ相談した上で受注・販売する業者を組合内の業者から決定し、販売価格が下がらないようにしていた。

〔問4〕 私企業には、自社の利潤を追求するだけでなく、積極的に社会貢献活動を行い、社会的責任<sup>(4)</sup>を果たすことが求められている。とあるが、次の文章は、私企業の経営者向けに作られた経済産業省の資料の一部を抜粋したものである。私企業の社会貢献活動に当てはまるのは、下のア～エのうちではどれか。

- 「企業の社会的責任」とは、社会の一員として、社会、特に株主、従業員、取引先、消費者、地域社会といった利害関係者に対する責任です。
- 「企業の社会的責任」は法令遵守<sup>じゅんしゆ</sup>や説明責任ばかりではありません。その一環として社会貢献活動があります。寄付や寄贈、ボランティア活動や、地域の催しへの参加など、地域の一員として、企業は様々な社会貢献活動を行っています。

(経済産業省の資料より作成)

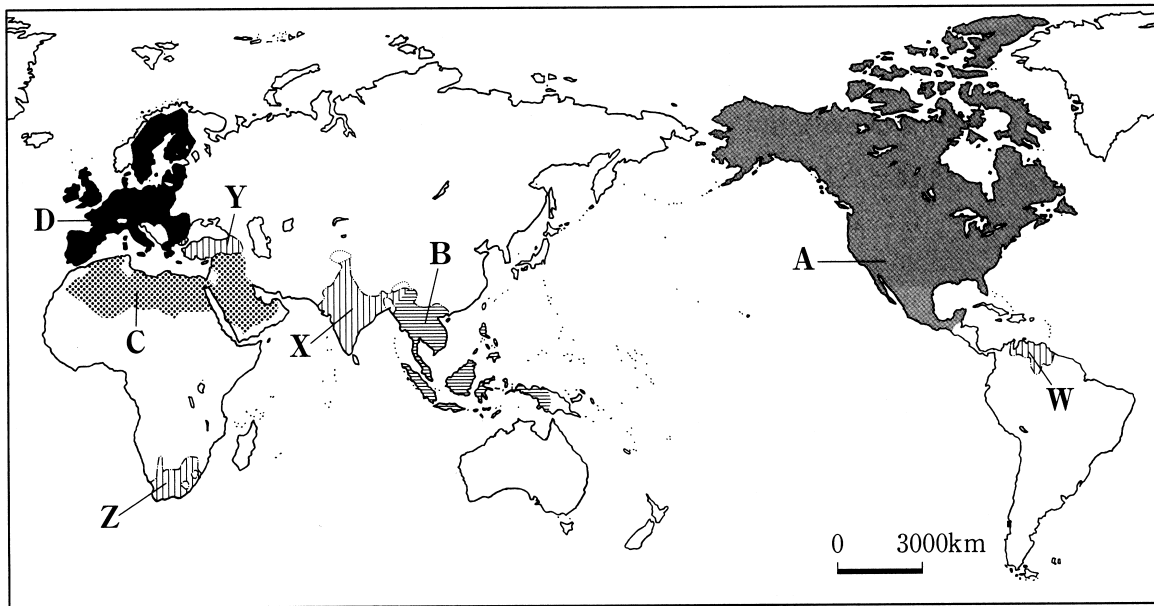
- ア 新聞やテレビなどを活用して広告・宣伝を行い、企業イメージの向上を図ったり、自社製品に対する購買意欲を高めたりする。
- イ 新製品を開発するための研究を行ったり、企業の規模を拡大して新技術を導入するための、工場や研究所の建設への投資を行ったりする。
- ウ 文化・芸術を振興するため、絵画展や音楽会などを主催したり、環境を保全するため、営業所や工場のある地域での植樹運動や地域清掃活動に参加したりする。
- エ 顧客へのきめ細かなサービスを実現するため、全国各地域の営業所数を増やし、全国一律のサービスを提供して顧客の信頼を得るよう努める。

6

次の文章を読み、下の略地図を見て、あとの各問に答えよ。

めまぐるしく変化する国際社会では、国と国とを隔てる壁は低くなり、グローバル化が進んできた。一方で、地域的な結び付きを強める動きも見られ、我が国はこのような地域統合の動きにも対応するとともに、我が国独自の地域的な結び付きを模索している。

また、グローバル化が進む中で、経済成長の著しい国々が世界の中で影響力を強めてきている。例えば、経済成長の著しい国々の国内需要の増大が、エネルギー資源の世界的な需給バランスに影響を及ぼすようになっており、資源の輸入国である我が国は、世界全体を視野に入れて行動することが求められている。



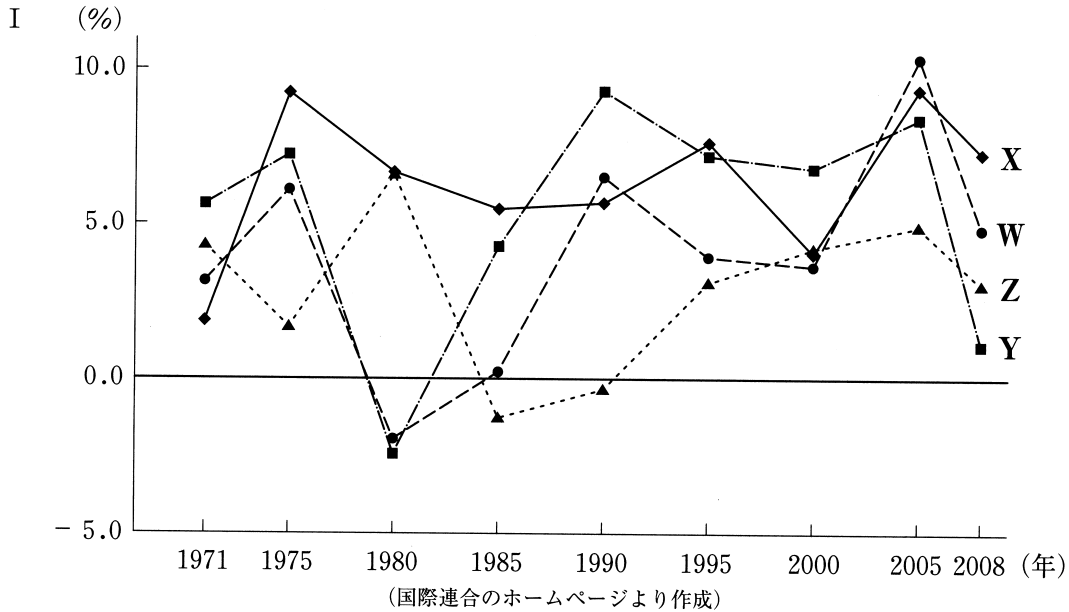
〔問1〕 地域的な結び付きを強める動きも見られ、とあるが、次の表の**ア～エ**は、略地図中に示した**A～D**の、2005年における人口、国内総生産（GDP）の総計を示し、地域統合の動きについてまとめたものである。**A～D**のそれぞれに当てはまるのは、次の表の**ア～エ**のうちではどれか。

	人口 (百万人)	国内総生産 (億ドル)	地域統合の動き
ア	195	8853	アラブの主要石油輸出国が、石油による利益を最大限に活用することを目的として1968年に機構を結成し、石油政策の調整による原油の値上げを行うなど、資源外交を展開している。
イ	490	137564	1967年に経済関係を中心に結成した共同体を、1993年に拡大して地域連合とし、各国の通貨を廃止して共通通貨を用い、域内の経済発展を図るなどの共通政策を行っている。
ウ	553	9034	第二次世界大戦後、植民地から独立国となり、地域紛争などに苦しんでいた国などが、地域の安定と発展を求めて1967年に連合を結成し、加盟国を増やしながら経済と政治の分野で協力を進めている。
エ	440	143410	移民の増加が課題となっている経済大国を中心に、隣り合う3か国間で1994年に自由貿易協定を結び、関税をなくして投資を自由化するなど、実効性ある関係を築いている。

(注) 国内総生産とは、一つの国において新たに生み出された価値の総額を示した数値のこと。

(「世界国勢図会」2010/11年版などより作成)

〔問2〕 経済成長の著しい国々が世界の中で影響力を強めてきている。とあるが、次のIのグラフのW~Zは、略地図中に|||||||で示したW~Zのそれぞれの国の、1971年から2008年までの経済成長率の推移を示したものである。IIの文章で述べている国に当てはまるのは、略地図中のW~Zのうちのどれか。



- II
- 経済成長率は1971年から1975年までは上昇し、その後、成長率が鈍った時期もあったが、発展途上国の中では高い成長率を示し続けている。
  - 英語が準公用語であることなどを背景にIT産業が発展し、2億人とも言われる購買意欲が高い中間所得層の人々向けに、2009年には国産自動車が発売された。

〔問3〕 経済成長の著しい国々の国内需要の増大が、エネルギー資源の世界的な需給バランスに影響を及ぼすようになっており、とあるが、次の表は、1980年と2006年における中華人民共和国、インドネシアの国内総生産 (GDP)、エネルギー消費量 (石油換算)、原油の輸入量、輸出量を示したものである。中華人民共和国とインドネシアに共通するエネルギー問題について、国内総生産とエネルギー消費量及び原油の輸出入量の変化に着目し、簡単に述べよ。

		国内総生産 (億ドル)	エネルギー 消費量 (万 t)	原油	
				輸入量 (万 t)	輸出量 (万 t)
中華人民共和国	1980年	3065	38637	37	1331
	2006年	27799	151441	14518	634
インドネシア	1980年	796	2311	519	5089
	2006年	3646	11290	1534	1387

(「世界国勢図会」2010/11年版などより作成)